

団体名	特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ		
事業名	食と愛で子どもを救う地域食堂とフードバンク事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：イオン・さくらんぼWAON子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	川西町	事業費	1,243,472 円
		うち助成金額	1,000,000 円



【地域食堂（子ども食堂とフードパントリー）】



【高校生と連携した食育活動（食育紙芝居）】

◆事業目的

コロナ禍は3年目を迎え、第6波などの感染拡大は社会的悪影響を数多く及ぼしており、経済的弱者に対するダメージは大きい。特に、片親世帯や低所得世帯は一層困窮を深めている。この課題解決に向け、地域が一体となった産官学民連携の地域食堂やフードバンク活動、居場所づくりを進めることを目的にする。

◆事業内容

①フードバンク事業

5月から2月まで、イオン東北系列のスーパーマーケット4店舗などに、フードドライブコーナーを設け収集し、困窮する世帯に提供する事業も並行して実施。収集回数は週1回、年間40回実施、配布は月1～2回合計14回

②地域食堂(子ども食堂)の開催
フードドライブや地元農家からの食材提供を働きかけや、既存子ども食堂との連携を図りながら地域食堂を開催した。

月1～2回、合計14回。

③子ども農園などの居場所づくり
食材の確保に向けた自助・共助の形を子ども農園で実践し、食に関する学習の場提供を行った。月1回、合計7回。

④高校生と連携した食育活動
高校生に呼び掛けながら食育活動を実践し、次世代を育成しながら町内外の子ども食堂との交流も行った。食育活動16回、交流2回。

◆事業成果及び今後の展望

①事業成果

1.生活困窮世帯など子どもの食生活改善や支援・・・対象延べ321名
2.コロナ禍の中で子ども救済を実践する食愛の輪の拡大・・・関係ボランティアなど延べ1645名
3.子どもたちが自助共助を学ぶ子ども農園、食育活動に居場所づくり・・・参加者延べ642名
4.高校生が進める食育活動による食育活動の担い手育成・・・参加高校生延べ100名
5.企

業からの協力による救済や支援のすそ野拡大・・・協力者延べ2000名程度
6.多世代が食の支援をテーマに連携する事業への若者の参加促進・・・参加者延べ185名
7.NPOや企業、農家や住民団体、さらに消費者による産官学民連携の実現

②今後の展望

NPO法人設立から10年目を迎える本法人は、賛同団体や企業との協働により、地域活性化や次世代育成、さらに支え合いに取り組みながら、SDGsの視点に立った公益的な活動を継続させていきたい。

NPO法人えき・まちネットこまつは、地域課題を解決する活動を続けます。詳しくは、当法人HPをご覧ください。

<http://www.npo-ekimachi.org/>
川西町上小松 1644 番地